

# 令和5年度大阪府景観審議会

## 第1回公共事業アドバイス部会 会議要旨

都市整備部 住宅建築局 建築環境課

開催日時：令和5年6月12日（月）13:00～15:00

出席委員：田中専門委員、林専門委員、若本部長

((仮称) 松生町駅について)

- ほとんど見えないだろうとご説明があったが、それがわかるようにすることは非常に大切。主な視点場がどこにあるのか、どこから見えるのかというのをまず示して、その上で効果的な景観計画をしていただきたい。
- 公共の施設と比較すると民間の施設は、塗り替えのスパンが短いので、どんな土地利用が周辺に発生しても飽きがこない、耐えられるような色彩や形体にする視点を持っていただきたい。
- 今回、用意していただいた俯瞰で街全体を表した、周りの建物やロータリ、道路などとの関係が分かるパースはとても大事。ぜひ、様々な方向からのパースを用意していただくと良い。
- 今回の提案が、色の反映のみなので、デザイン、景観としての提案ができると思うので、次の機会に活かしていただきたい。
- 景観について協議することが、駅の実施設設計の段階でコンセプトの様なものが出てきているので、解決できないような問題がある。
- 周りの建物との高さ関係やボリューム感、配置計画、全体のコンセプトなどを一緒に議論したうえで考えなければ、この地域延滞の景観イメージをどうコントロールするかというところにあまり有効な手立てが実施設計の段階では打ちにくい。
- 目標設定シートを書く際は、引継ぎを正しくすることも必要。市の意向がなんであるかを具体的に書いておいた方がよい。
- 大きな風景を気にしているが、体験するのは身近なところだったりもするので、細かなと

ころに気を配ってください。

((仮称) 瓜生堂駅について)

- たくさんの事業者が関わっており、密接にデザインに関係する箇所もあると思われるので、良いチームを作っていただきたい。
- コンセプトを最終的に色やサインだけで表現するというのがデザインの役割のように勘違いされるような聞こえ方になっているので、説明の中で、形態上の表現をコンセプトに合わせるという表現が重要ではないか。
- お互いの位置関係や使いやすさ、接続関係が本当のデザインでありその機能面の美しさが見た目の美しさにも繋がっていき、良い設計となる。各駅と交通広場の関係性についての目標が含まれて然るべき。
- 大阪府の考える景観は見た目だけを考えているかどうかを知りたい。  
⇒景観は見た目だけではなく、地域の方の愛着や、広い意味での良好なものを作っていくという考え方だと思っている。
- アドバイス部会があろうがなかろうが、事業を手掛けるかなり初期の段階から、景観デザインは考えていただきたい。
- 人間目線のシステムと交通面等のシステムとの調和を図ることをかなり初期の段階で考えておかないと掲げているコンセプトを実現することは難しい。
- 駅をどういう存在として、この街に息づいてほしいかをもう一段、形に落とし込んだコンセプトを整理したうえで、全体設計の機能面と同列に考えることが重要。今回の事業に限らず、大阪府全体の事業がそのように進めることが出来る制度設計ができるとうい。

((仮称) 門真南駅、(仮称) 鴻池新田駅、(仮称) 荒本駅の報告について)

—意見無し—